

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和2年2月～令和2年3月）

令和2年2月～令和2年3月の白石踊に関わる高校生の活動について、高校生自身に報告文を書いてもらいました。

1. 千葉商科大学主催 地元再発見コンテスト 優秀賞 受賞

私たち3名（吉實沙希・渡辺陽・和田雄喜）は千葉商科大学主催の「地元再発見コンテスト」に昨年の9月に応募しました。この「地元再発見コンテスト」は、“地元の自慢できる「もの」「こと」”を活用して地元活性化へつなげるビジネスプランを募集するものです。

「源平合戦の歴史伝承を体験するツアー」と題して、源平合戦由来の『白石踊』や『ひったか』『おしぐらんど』を観光客に体験してもらおうというプランを提案しました。笠岡ラーメンや白石島国際交流ヴィラも組み込みました。1次審査通過後には動画を作成して最終審査に臨むのですが、白石踊会の皆さんにご協力いただき白石踊の練習風景も入れることができました。

おかげさまで優秀賞（2位）を受賞することができました。残念ながら、表彰式はコロナウイルス感染予防のため中止されましたが、笠岡市のことを全国に周知する機会になり有意義でした。なお、応募した動画は千葉商科大学のHPで近々公開される予定です。

（文章 吉實沙希）

2. 第2回クールジャパン高校生ストーリーコンテスト 佳作 受賞

クールジャパン官民連携プラットフォーム（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）が主催するクールジャパン高校生ストーリーコンテストに3名（渡辺陽・吉實沙希・和田雄喜）で応募しました。このコンテストは、高校生の自由な発想と広い視野で、地域にある魅力に気づき、それを世界の人々に効果的に共感してもらうためのストーリーを作るものでした。

私たちは白石踊をもっと外国人にも知ってもらおうとストーリーを組み立てました。広島の世界遺産を訪れる外国人により深く日本の伝統文化や思想に触れる機会として白石踊を習い、一緒に島の盆に参加することを提案する内容にしました。

このストーリーを構築するにあたり、私たちは白石踊や日本の盆踊りが外国人にはどのように見えているのかを海外出身の方々にインタビューしました。ご協力いただいた皆様、また平和記念公園の絵画の画像を快く使わせてくださった林勇介教諭に感謝しています。

このコンテストも全国から選出された8プランの高校生が東京に集まって最終審査会に臨むはずでしたが、コロナウイルス禍のためにプレゼンテーションしている動画を撮影して応募する形態に直前に変更になりました。東京に行かれなかったのは残念ですが、佳作を受賞することができました。私たちの作品の概要は主催者HPで見ることができます。全国の方々に白石踊を知ってもらおうきっかけになれば幸いです。<https://www.cjstory.go.jp/>

（文章 吉實沙希）

3. 『全国高校生 MY PROJECT AWARD2019』全国 Summit 出場

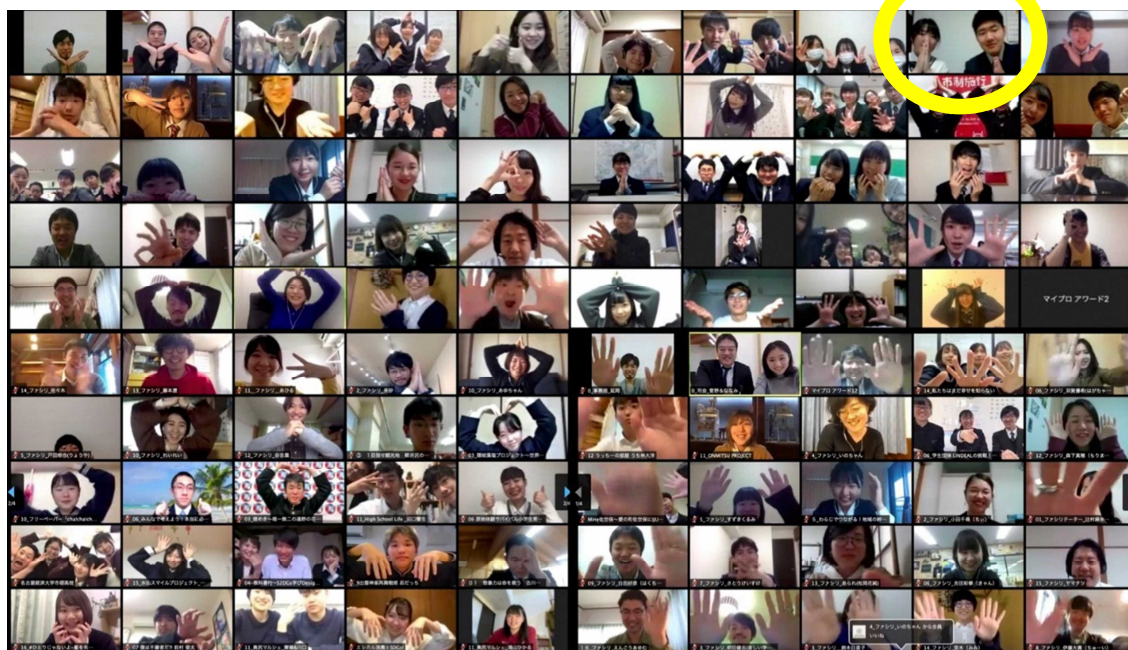
全国から実践型の探究学習やジャンルを問わず個人の熱い思いで各自のプロジェクトに取り組んできた高校生たちが集う学びの祭典「全国高校生マイプロジェクトアワード2019 全国 Summit」に、白石踊会員であり継承活動をしている高校生を代表して渡辺陽と吉實沙希が参加しました。

この全国高校生マイプロジェクトアワード2019には全国から9,000人以上の高校生が取り組む2654プロジェクトの中から選ばれた、48プロジェクトが、3月27日～29日に全国サミットに出場できました。お互いの「取り組み」を紹介しあい、意見や助言を投げかけ合うものです。このサミットで特に重要視されるのは、高校生がその「取り組み」の過程で何を学習したのかという点です。私たちも取り組みの中で白石踊の後継者不足を改善するにはどうしたらよいかを考えることが、大学進学にあたり何を学ぶかという「学びのテーマ」を発見するきっかけになったことを共有できました。

本来なら東京にて開かれる予定でしたが、今回はコロナウイルスの影響のためにウェブカメラとマイクを用いインターネットで顔を合わせるオンライン開催という形になりました。ネット上のコメント欄に発表の感想を書き込んだり意見を述べ合ったりとオンラインならではの機能も活用して交流できました。全国の高校生がそれぞれの地域で頑張っていることが分かり、相互に刺激になったと思います。

(文章 渡辺 陽)

ここに写っています



「写真はマイプロジェクト HP (<https://myprojects.jp/news/12773/>) より引用」

以上